

聞こえない人の生活とは

音が聞こえないことで不便なことが社会にはたくさんあります。
どうすれば誰もが暮らしやすい社会になるのでしょうか。

家の中で

玄関のチャイムや目覚まし時計が鳴っても気づかないので、音を光や振動に変えて伝えてくれるものを使っています。



テレビを見るとき

テレビの音が聞こえないので、手話通訳や字幕付きの番組を見ています。字幕付きの番組がもっと増えると、より暮らしやすくなりますね。

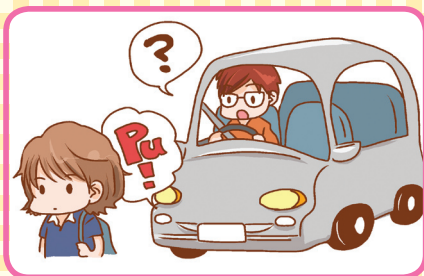


まちの中で

自動車のクラクションや自転車のベルの音が聞こえないので、後ろから近づいてくことに気づきません。自動車や自転車を運転する人は、音で合図をしても気づかない人がいることを知ってください。



やさしい



外出先で

駅や電車内のアナウンス、病院や銀行での呼び出しが聞こえないので、電光掲示板などがあると目で情報が確認でき安心できます。



おしゃべりするとき

周りの人が何を話しているかわからなくて、仲間に入れず疎外感を感じることがあります。聞こえない人がいたら配慮をお願いします。



災害が起きたら

緊急車両のサイレンやアナウンスなど、耳から入るさまざまな情報を得ることができないため、適切な行動がとれません。近隣に聞こえない人がいたら、情報を紙に書いて知らせるなど支援をお願いします。



日常生活には音の情報がたくさんあります。ここに書かれていること以外にも聞こえなくて困ることはいろいろあります。どうすれば安心して暮らせる社会になるか一緒に考えましょう。



大津